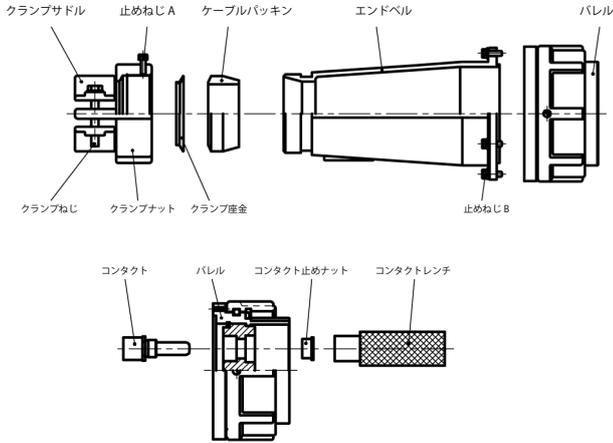


# 結線作業方法【はんだ】NMI

※結線部に強い力が加わるような使い方は避けて下さい。

## 1. 構成図の通りコネクタを分解する。

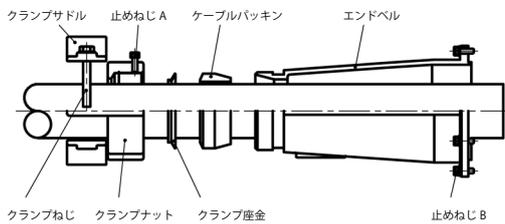
(図は、サイズ 90 を示す 他のサイズも基本構成は同様)



注) コンタクトの取り外しには専用のコンタクトレンチが必要です。

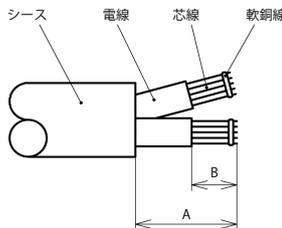
## 2. 分解した各部品を下図の順でケーブルに通す。

注) 各部品の順番、向きを間違えない様にする。



## 3. 使用ケーブルのシース及び電線を下の表の寸法で剥く。

必要に応じて芯線の先端がバラつかないように  $\phi$  0.6 程度の軟銅線で先端を束ねる。



サイズ・コンタクト数・形状	A (mm)	B (mm)
903, 904	140	16
1203	120	35

## 4. 線剥きを施した電線の芯線に予備はんだを施す。

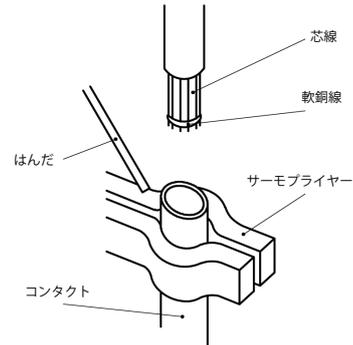
注) ※予備はんだは、電線の被覆部まで行わないこと。

仕上がり状態は、コンタクトの孔径より小さく全体にムラの無いこと。

※予備はんだを施したケーブル導体の仕上がり状態がコンタクトの孔径より大きくなる場合は、ケーブル導体がコンタクトに差し込めなくなるので予備はんだは行わないこと。

## 5. はんだづけを行う。

注) トーチランプ等を使用する場合は、ケーブル絶縁体、コンタクト接触部及びねじ部に保護のためガラステープ等をまいて下さい。



- ① コンタクトのソルダーポットに約 10g のはんだを入れ、サーモプライヤー又はトーチランプでソルダーポットを加熱してはんだを溶かす。  
(図はサーモプライヤー使用時の状態を示す)
- ② はんだが、ソルダーポットの内壁にウエットしたらはんだを追加し、ソルダーポットの半分くらいまで溶かしておく。
- ③ ケーブルの芯線をはんだがウエットする様に徐々に挿入し、ソルダーポットが満たされるまではんだを追加する。
- ④ はんだが固まるまで芯線をまっすぐ固定し、動かさない。

## 6. 下記の要領でコネクタを組み立てる。

注) ※パッキン類に汚れが付着すると防水性に影響が出ることがあるのできれいな状態で作業すること。

※ケーブルパッキンをエンドベルに押し込む際は、ケーブルに傷を付けない様に慎重に行うこと。

※サイズ 90 でケーブル仕上がり外径が  $\phi$  33 未満の場合、クランプサドルに当たる部分のケーブル外径をビニールテープ・熱収縮チューブ等を使用し  $\phi$  33 以上にすること。

- ① バレルにコンタクトを取付け、コンタクトレンチで止めナットを締め付けて固定する。  
(コンタクトが同時に回転しない様にする)
- ② バレルをエンドベルに締め付けて固定する。  
(サイズ 90 は止めねじ B を締め付けて固定する)
- ③ エンドベルにケーブルパッキンを押し込みクランプナットを締め付ける。
- ④ 止めねじ A を締め付ける。
- ⑤ クランプねじを締め付け、クランプサドルを固定する。  
(サイズ 90 は 2 本、サイズ 120 は 4 本)

